

参考資料

1. 持続可能な事業運営 広域化・共同化メニュー

(1) 広域化・共同化メニューの事例（ハード連携）

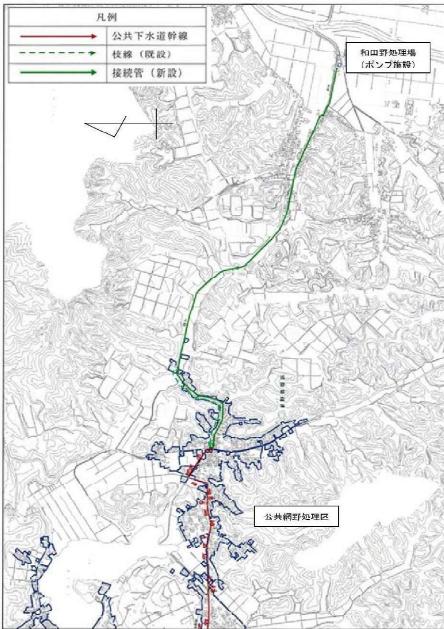
整理番号 1	宮津市し尿受入施設（仮称）		○：実施中あるいは実施することが決定しているメニュー
取組概要	し尿及び浄化槽汚泥（宮津市：宮津湾処理区以外の地区）を宮津湾浄化センター（京都府：流域下水道）への希釈投入を検討		
関係する自治体 (処理場)	受入検討施設		廃止検討施設
	自治体名	施設名	自治体名
	京都府	宮津湾浄化センター	宮津市
			し尿再生処理施設
概要図			
整備内容	流域下水道	-	
	し尿・浄化槽	し尿受入施設 希釈投入設備 N = 1式	
事業費	流域下水道	-	
	し尿・浄化槽	希釈投入設備の整備：1,800 百万円	
取組による効果	定量的効果 し尿・浄化槽汚泥を、流域下水道へ投入した場合で費用比較 コスト縮減額（建設費+維持管理費）：▲60.6 百万円／年(20 年分) 定性的効果 令和4 年度に整理予定		
取組時期	令和5 年度	都決・下法認可の変更手続き、実施設計	
	令和6～8 年度	工事	
	令和9 年度	供用開始	

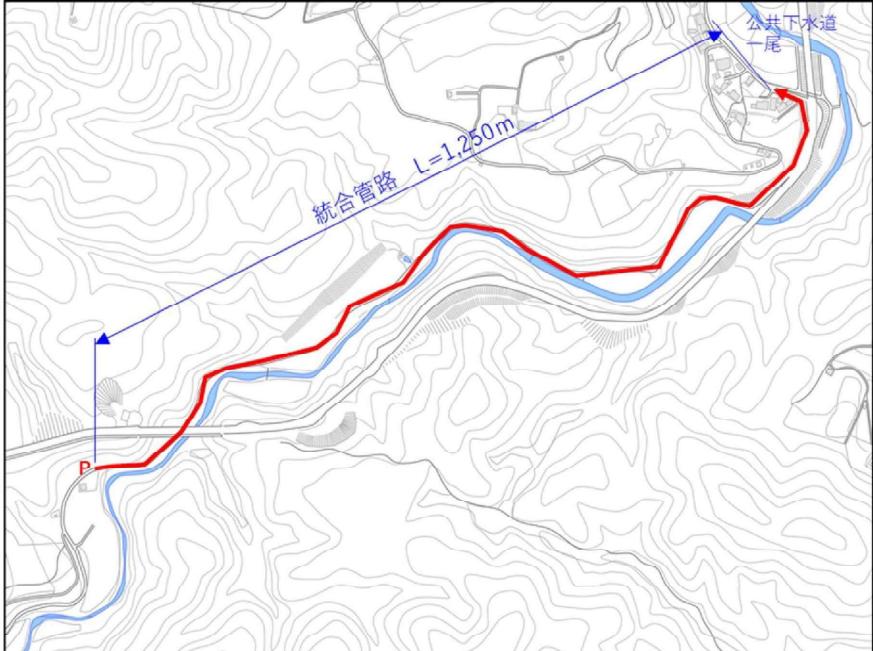
整理番号2 流域下水道への公共下水道編入（△：実施についてこれから検討を進めるメニュー）

下水処理場の老朽化による修繕・改築費を考慮し、流域下水道への公共下水道編入の可能性の検討も視野に、今後のあり方を模索している。

整理番号3	汚泥処理の共同化（全体）	△：実施についてこれから検討を進めるメニュー
取組概要	京都府主導のもと、京都府内の下水汚泥等を対象に、「施設効率化」「有効利用」「災害対応」の3つの視点から、広域的かつ将来的な視点に立った汚泥処理の効率化を検討するとともに、バイオマス資源としての利活用の推進等について検討している。	
関係する自治体	下水処理場を有する市町 他	
概要図（イメージ図）		
取組により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○施設効率化 行政界を跨ぐ汚泥広域利活用の事業化検討・事業実施を中長期的に推進し、汚泥集約による施設効率化を図り、府内の汚泥処理・処分コストの削減 ○災害時対応の強化 汚泥集約拠点への受入設備の設置や、災害時における汚泥処理に関する連携協定締結を検討・実施し、中長期的に災害時対応の強化 ○有効利用の推進 既存有効利用施設の活用や、汚泥集約拠点への有効利用施設の設置を検討・実施することによる中長期的な有効利用の推進 	
取組時期	<p>短～中長期の取組 中長期的な視点に立ち、行政界を跨ぐ汚泥処理の集約化などを京都府・市町村等が連携して検討する。</p>	

整理番号 4	農業集落排水施設の下水道接続		○：実施中あるいは実施することが決定しているメニュー		
取組概要	上弓削地区農業集落排水事業（京都市：上弓削地区）の 京都市京北特定環境保全公共下水道事業への統合				
関係する自治体 (処理場)	受入検討施設		廃止検討施設		
	自治体名	施設名	自治体名	施設名	
	京都市	京北 浄化センター	京都市	上弓削 浄化センター	
位置図					
整備内容	下水道	-			
	農集排	$\phi 75 \text{ L} \approx 0.26\text{km}$, $\phi 150 \text{ L} \approx 0.02\text{km}$ マンホールポンプ N = 1 基			
事業費	下水道	-			
	農集排	連絡管の整備等 : 160 百万円			
取組による効果	<p>定量的効果 繼続利用する場合と、公共下水道へ接続した場合で費用比較 コスト縮減額 : ▲ 260 百万円 (35年分)</p> <p>定性的効果 污水処理施設の集約により維持管理の効率化等を図る。</p>				
取組時期	令和4年度 接続工事（農業側） 令和5年度 接続工事（農集排側），事業計画変更申出 令和6年度 事業統合				

整理番号 5	農業集落排水施設の下水道接続		○：実施中あるいは実施することが決定しているメニュー		
取組概要	和田野地区農業集落排水処理施設（京丹後市：弥栄町和田野地区）を網野浄化センター（同市：公共下水道網野処理区）に統合を検討				
関係する自治体 (処理場)	受入検討施設		廃止検討施設		
	自治体名	施設名	自治体名	施設名	
	京丹後市	公共下水道網野処理区	京丹後市	和田野地区農業集落排水処理施設	
位置図					
整備内容	下水道	測量・詳細設計業務、マンホールポンプ N= 4 基 $\phi 150$ L=3.9 km $\phi 200$ L=0.04 km			
	農集排	-			
事業費	下水道	連絡管の整備：492 百万円			
	農集排	-			
取組による効果	<p>定量的効果</p> <p>農業集落排水処理施設（現況施設）を継続利用する場合と、公共下水道網野処理区へ接続した場合で費用比較</p> <p>コスト縮減額：▲2.2 百万円／年</p> <p>定性的効果</p> <p>下水道接続による汚水処理施設の集約は維持管理の効率化等、地域の活性化に寄与する。</p>				
取組時期	令和元年度 測量業務・詳細設計業務 令和元～5 年度 工事（管渠布設 他） 令和6 年度 供用開始				

整理番号 6	農業集落排水施設の下水道接続		○：実施中あるいは実施することが決定しているメニュー	
取組概要	改築時期を迎える農業集落排水施設を公共下水道へ接続し、施設管理を適正化します。			
関係する自治体 (処理場)	受入検討施設		廃止検討施設	
	自治体名	施設名	自治体名	施設名
	福知山市	福知山終末処理場	福知山市	行積長尾農業集落排水施設
位置図				
整備内容	下水道	管路布設 L=1,250m マンホールポンプ N= 1式		
	農集排			
事業費	下水道	統合管路布設工事 80 百万円		
	農集排			
取組による効果	<p>定量的効果 個別処理の場合と、公共下水道へ統合した場合の費用比較 コスト縮減額：▲ 3 百万円／年（維持管理費の削減）</p> <p>定性的効果 公共下水道に統合することにより、人口減に伴う使用料収入の減少、大量ストック更新時期の到来などの課題を解消する。</p>			
取組時期	令和4年度	実施設計・工事		
	令和5年度	供用開始		

整理番号 7	農業集落排水施設の下水道接続		○：実施中あるいは実施することが決定しているメニュー		
取組概要	志和賀浄化センター（南丹市日吉町志和賀地区）を殿田浄化センター（特定環境公共下水道）に統合				
関係する自治体 (処理場)	受入検討施設		廃止検討施設		
	自治体名	施設名	自治体名	施設名	
	南丹市	殿田浄化センター	南丹市	志和賀浄化センター	
位置図					
整備内容	下水道	圧送管φ75 L=0.74km 志和賀浄化センターをポンプ場に改築等			
	農集排	-			
事業費	下水道	連絡管の整備： 31 百万円 施設の改修等： 69 百万円			
	農集排	-			
取組による効果	<p>現状維持の場合と、下水道へ編入した場合で費用比較 短期的(10年)に見た場合は経済性においては現状維持が有利だが、中期(20年)以降は、維持管理費が安価となる統合案が経済的に有利である。</p>				
取組時期	令和2年度 実施設計 令和3~4年度 工事 令和5年度 供用開始				